



7/4 オウゴンオニユリが 開花！

—寄贈：県立諫早農業高校—



写真：市役所玄関に展示したオウゴンオニユリ

対馬市は、県立諫早農業高校と「対馬の希少植物保全」に係る連携協定を締結して、オウゴンオニユリの培養技術の確立等に取り組んでいます。この度、本市に寄贈されたオウゴンオニユリが開花しましたので、市役所各庁舎に展示しました。

※オウゴンオニユリは文字通り黄金色の花をつけるオニユリの変種で、世界でも対馬にしか見られません。

7/16 古き良き伝統を 継承

—上対馬高校舟グロウ大会—



上対馬町の大浦湾で「伝統文化体験学習第19回上対馬高校舟グロウ大会」が開催されました。クラスごとに、こぎ手14人（一つの櫓に2人）・あや切り1人・手木1人、合わせて16人でチーム編成し、白熱したレースが展開されました。結果、3年C組が見事優勝の栄冠に輝きました。

7/24 厳原の夏の 風物詩

—地蔵盆—



厳原町の市街地で、子ども達の安全と健やかな成長を願う地蔵盆が行われました。子ども達は、賽銭箱にお金を入れ、手を合わせお参りし、その代わりに地蔵菩薩の御札とお菓子をもらいながら笑顔でお地蔵様を巡りました。

7/29 夏だあ！わっしょい！ わっしょい！

—いさり火山笠祭り—



美津島町上の町公園をスタートした「いさり火山笠行列」は、各地区育成会の子ども達が「わっしょい！わっしょい！」と声をかけながら、ゴールの美津島文化会館駐車場の祭り会場まで練り歩きました。また会場ステージでは、太鼓の演奏やよさこい・もちまき等が行われ多くの市民が祭りを楽しみました。

7/7 都市部企業からの力強い応援



(左)住友大阪セメント(株)関根 福一取締役社長
(右)(株)SNC 二川 敏明 代表取締役社長

上対馬町舟志地区で地域住民・市民団体とともに「舟志の森づくり」を行っている2社から、今年もツシヤマネコ基金に寄付をいただきました。

- 住友大阪セメント(株):30万円(25年度から通算140万円)
- (株)SNC:20万円(26年度から通算80万円)

7/21 対馬市の後ろ盾として



祝 有人国境離島法施行『感謝の集い』

厳原町の対馬市交流センターで有人国境離島法施行「感謝の集い」が開催されました。式では、対馬市国境離島新法協議会の桐谷安博会長が挨拶した後、谷川弥一衆議院議員、金子原二郎参議院議員が、経過報告を行いました。

7/26 つしにゃんがお出迎え!



「つしまライオンズクラブ結成50周年」記念事業により厳原港入口の看板がリニューアルされました。新しいデザインには(一社)対馬観光物産協会のマスコット「つしにゃん」が採用され、厳原港のウェルカムゲートとして対馬を訪れる観光客や帰省客を迎えます。

7/16 浅茅湾の大自然をカヤックで



美津島町で「対馬シーカヤックフェスタ2017」を開催し、島内外から55人が参加しました。美津島町黒瀬をスタートしゴールの箕形まで、金田城築造1350年の歴史を横目に浅茅湾の大自然をシーカヤックで海の散歩を満喫しました。

7/23 「ひとつばたご」で繋がる岐阜県中津川市の子ども達が海を満喫!



上対馬町三宇田浜海水浴場で「対馬市・中津川市交流事業」が行われました。市内から6人(比田勝小・豊小)、中津川市から6人の児童が参加。海に面していない中津川市の子ども達は、バナナボートやスイカ割り等を楽しみ交流を深めました。

7/26 対馬市活性化のいしづえに



(左)株式会社ANA総合研究所 岡田 晃 代表取締役

対馬市と(株)ANA総合研究所との間で地域活性化のための連携協定が締結されました。地域資源を活用した観光振興・地域ブランドの推進・地域情報の発信などANA総合研究所の協力を得て対馬ブランドを発信していきます。

まちの話
特集
スポーツライナー
各課からのお知らせ
無料法律相談
対馬振興局からのお知らせ
博物館通信
わがまち再発見 図書館情報
年金コーナー 消費生活相談所
情報BOX
こころのソング
福岡事務所
おくやみき他
特別診療案内他

対馬初のプロ棋士 佐々木 大地 四段



柔らかな雰囲気と
落ち着いた受け答えが印象的な
プロ棋士、佐々木大地さんは
対馬に生まれ対馬で育ちました。
将棋の世界で生きていくことを決意し、
夢を叶えた佐々木さんに、
今最も注目されている
将棋の世界の事、勝負の事、目指すべき
将来の事について伺いました。

プロ棋士 佐々木大地四段（22歳）美津島町雞知出身

将棋が趣味だった父の影響を受け3歳で将棋をはじめ。2004年、鶏鳴小学校3年生の時に初の日本一を獲得（全国小学生倉敷王将戦低学年の部）。その後プロ棋士になることを決意し、6年生で横浜に引っ越し奨励会（プロ棋士を目指す者が所属する研修機関）入り。昨年4月に念願のプロに昇格し、フリークラスから、現在は順位戦に出場できるC級2組へ昇級している。

プロ通算成績は7月13日現在で34勝13敗。プロ棋士の加藤一二三九段や、藤井猛九段、丸山忠久九段をはじめ、名だたる棋士に白星を挙げるなど若手棋士として注目されている。中でも、名人の経験のある丸山九段に勝利したNHK杯本選は全国で放映され、一躍多くの将棋ファンに知られる存在となる。

対馬帰省の際はもっぱら釣り三昧。この夏には、新人王戦の3回戦で話題の藤井聡太四段との対局も控えている。

将棋をはじめたきっかけと幼少期

いつから始めたんですかとよく聞かれるのですが、始めたであろう3歳の時のことはよく覚えていません。将棋好きの父は、当初私ではなく姉に教えようとしていたらしいのですが、姉が興味を持たなかったため私にさせてみたそうです。

鶏鳴幼稚園に通っていた頃にはもう将棋が大好きになり、父に勝てるようになりました。勝ったら遊戯王カードを買ってもらえるというご褒美がありましたので夢中でしたね。小学校に入るとほぼ毎日ネットで対局をしていました。勉強も嫌いではなかったので結構頑張っていたと記憶しています。横浜に引っ越してからはずっかり苦手になりましたけど（笑）。一番好きな科目は体育。対馬に住んでいた頃はグリーンパークで野球をしたり、海釣りも大好きでした。

小学校1年生の時、長崎県の大会で初優勝したのを機に様々な大会に出場するようになり、3年生の時は全国優勝をすることもできました。将棋熱は冷めることなく、次第にプロを意識するようになっていきました。



鶏鳴小学校3年生の時、初の日本一に
（写真：「広報つしま2004年
9月号」から抜粋）

まちの話題

特集

スポーツライナー

各課からのお知らせ

無料法律相談

対馬振興局からのお知らせ

博物館通信

わがまち発見 図書館情報

年金コーナー 消費生活相談所

情報BOX

こまごまキャン

福岡事務所 レポート他

おくやみ 市長の動き他

特別診療案内他

プロを目指して奨励会へ

具体的にプロを目指したのは小学6年生です。将棋が面白かったし、数々の大会でプロ棋士に会い憧れを抱くようになりました。そんな中、父から勉強を頑張るか将棋を頑張るかと問われ「将棋がやりたい。」と答えました。

プロになるには奨励会に入らねばなりませんから6年生の途中で対馬を離れることになりました。といっても、奨励会は受験制度なので受験者同士の対局や筆記などを経て合格することが必須でした。

中学・高校時代は、月に2回土日に集まり朝から奨励会の生徒同士で対局をします。昇級規定の6連勝・9勝3敗・12勝4敗など様々な条件を満たすと昇級し、その延長線に一握りのプロがいます。成績が良くないと退会に追い込まれますし、同期が先にプロになり、悔しい日々も経験しました。でも、絶対に奨励会から抜けてプロになるという夢は諦めませんでした。夢が叶ったのは7年半後の昨年4月でした。



取材中に「応援しています!」とファンに握手を求められることも

印象に残る対局

やはりNHK杯本選での丸山忠久九段との対局でしょうか。全国放送でしたので、対馬の方々にも観ていただけて嬉しかったです。おかげで地方に行っても声をかけていただくことが増えました。過去に名人を獲得されたことがあり、私にとっては雲の上の存在の方ですが、そのような方と対局できる喜びを噛みしめました。

解説は、佐世保出身で私の師匠でもある深浦康市九段がしてくださり、お世話になった師匠の前で勝利を挙げるのができ少し恩返しできた気持ちです。

プロ棋士の生活とは

人それぞれ違いますが、私の場合は対局が週に1回ほどで、あとは練習将棋や指導、イベント出演などがあります。テレビやインターネットで将棋解説者を務めることもあります。

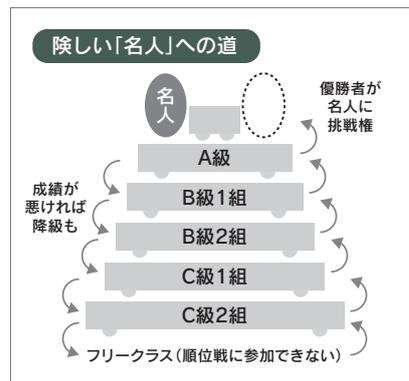
休日は将棋連盟の野球部とフットサル部で気分転換しています。若い棋士たちと食事にいったりもします。

夢を叶えるために

今年2月に順位戦に参加できるC級2組(右図)に昇級できホッとしました。でも勝たなければ、30代でも引退に追い込まれる厳しい世界です。勝利を重ね、いつかタイトル戦の本戦に加わるのが目標です。

夢を叶えるには、その本人の気持ちが一番大事で、どれくらい熱意を持っていただけるかではないでしょうか。離島で将棋の勉強をするには難しい環境だったかもしれませんが、しかし、ネット対局で実力をつけることができましたし、元奨励会の方々から熱心に教えていただいたおかげで夢を持ち続けることができました。

「どうしたら強くなれますか?」とよく聞かれますが「好き」という思いがあれば道は開けていくのではないのでしょうか。



今後の抱負と市民のみなさんへのメッセージを

中学生棋士の藤井四段の活躍もあり、将棋は様々なメディアから注目されています。これを機に将棋を指して、観て楽しんでいただけると嬉しいです。私自信も、各棋戦で多く勝ち上がり、昨年以上に良い成績を残せるよう頑張りたいと思います。そして立派な棋譜を残せる棋士になりたいです。

対馬には年に一度は帰省し、子どもの頃お世話になった先輩方と対局を楽しんだり、のんびり釣りに出かけたいです。こちらにいと対馬の海が恋しくなり釣りがしたくなるんです。今後は地元の子供達との交流の機会もあればと思っていますので、是非声をかけてください。応援よろしくお願いたします。

雄大な自然の中を走る

～国境マラソンIN対馬～



7月2日、上対馬町の三宇田浜海水浴場前を発着点とした「第21回国境マラソンIN対馬」が開催され、1,302名（市内414名・市外403名・韓国485名）のランナーが出走しました。



10km一般男子39歳以下 1位 早田太一さん



シルバー賞 鈴木與七さん86歳



遠来賞
長谷川栄一さん
(北海道)



遠来賞
加藤美由起さん
(北海道)



パフォーマンス



ハーフ一般男子39歳以下 1位 富高一成さん



高校生ボランティアによる給水

各クラスの1位は以下のとおりです。

ハーフ一般			
男子	39歳以下	富高 一成	1:19:22
	40歳代	石川 昌敬	1:22:22
	50歳代	KIM HONG SEOK	1:35:49
	60歳以上	石田 健治	1:42:08
女子	39歳以下	吉富 博子	1:26:24
	40歳代	松本 和恵	1:54:23
	50歳代	宮川 由香	1:45:26
	60歳以上	LEE YEONGJA	2:45:22

10km一般			
男子	39歳以下	早田 太一	0:34:07
	40歳代	松尾 寛幸	0:38:30
	50歳代	吉村 文長	0:39:25
	60歳以上	中野 次郎	0:48:39
女子	39歳以下	JUNG EUNMI	1:01:17
	40歳代	花岡 洋子	0:43:17
	50歳代	中岡 典子	0:55:47
	60歳以上	森田 典子	1:16:26

5.4km一般			
男子	39歳以下	阿比留 勇次	0:21:41
	40歳以上	井 貴詞	0:21:36
女子	39歳以下	LEE SEONG YUN	0:24:30
	40歳以上	原 弘美	0:30:19
ウォーキング一般			
男女		間下 勉	0:44:57

「対馬女子」県の頂点から九州・全国へ

7月22日から開催された「平成29年度長崎県中学校総合体育大会」剣道女子個人の部で、東部中学校3年の平山詩菜さんが（写真：左）優勝し、8月7日から大分市で開催された九州大会に、また、陸上競技女子砲丸投で、雑知中学校2年の依芹奈さん（写真：右）が12m37で1位となり、同じく8月5日から宮崎市で開催された九州大会にそれぞれ出場しました。

なお、平山詩菜さんは、8月18日から佐賀市で開催される全国大会にも出場します。



対馬市中学校総合体育大会の様子



っしまヂカラで全国大会出場

7月15・16日大分県別府市で開催された第20回全九州シニアバスケットボール交歓大会（参加チーム数16）に、長崎県代表として出場した対馬スターズ（監督：龍井義一）が、見事なチームワークにより出場の切符を手に入れました。

対馬スターズは、10月に岡山市で開催される全国大会に九州代表として出場します。



誰よりも速く！高く！遠くへ！

対馬市峰総合運動公園陸上競技場で「第63回対馬島民体育大会陸上競技大会」が行われました。主な結果は以下のとおりです。

結果			
	男子	女子	総合
	1位 厳原町	1位 美津島町	1位 厳原町
	2位 美津島町	2位 厳原町	2位 美津島町
	3位 豊玉町	3位 上対馬町	3位 上対馬町

大会新記録 (敬称略)			
男子	E 100m	松村 晋弥 (厳原)	12秒1
	小 100m	東 秀叡 (厳原)	12秒6
	小 1000m	東 秀叡 (厳原)	3分08秒4
	E 走幅跳	松村 晋弥 (厳原)	5m40
女子	F 砲丸投	一宮 義幸 (厳原)	10m81
	A 円盤投	宮崎 幸成 (厳原)	36m18
	A 1500m	佐藤 ちひろ (美津島)	5分29秒6
	小 400mR	勝見・小島・吉木・一円 (美津島)	58秒2

大会タイ記録 (敬称略)			
男子	高 100m	吉野 友基 (美津島)	11秒1
	F 走幅跳	阿比留 義範 (豊玉)	4m23

